


<p>切削機</p> 		<p>切削機の刃の部分</p> 		
<p>作業写真</p> 		<p>作業前</p> 	<p>切削後</p> 	
<p>切削状況</p> 		<p>切削図面</p> 		
機材名	全長×全幅×全高 (mm)	重量	動力方式	備考
切 削 機 F-22EST	1600×540×930	227kg	三相 200V 23A 5.5kw	手動レベル機能 自動速度調整機能付き

特殊超硬カッターを縦に回転させて、仕上材を叩いて（切削）除去していきます。

長所・・・ほとんどの塗床材に対応でき確実に切削していきます。

切削能力は5ミリ以下（仕上材により異なります）です。

専用の200V集塵機を取付けることによって、粉塵の飛散を防ぐ事ができます。

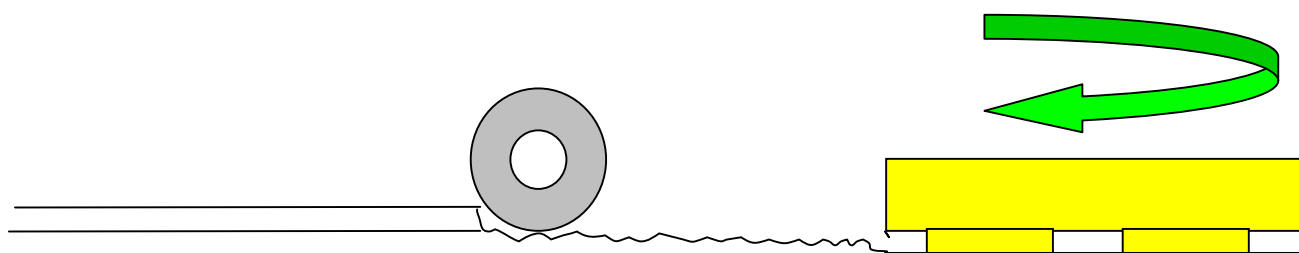
短所・・・下地が荒れるために不陸修正または研磨処理工程との組み合わせが必要となります。

床面のコンクリートを叩くために振動と騒音が発生します（最大 90db）。

この機械は227kgあるため、階段を使用しての搬入出や移動に時間と労力がかかります。



切削 + 研磨 図面



機材名	全長×全幅×全高 (ミリ)	重量	動力方式	備考
研 磨 機 DHG	980× 700× 910	1 4 0kg	三相 200V 21.5A 5.5kw	ダイヤモンド刃を使用

ダイヤモンドを取付けたディスクを乾式にて水平回転させ、床面を研磨して平滑化させる工法です。

切削工法と研磨工法の組み合わせの必要性

平滑な下地を必要とすると、縦回転の切削機を用いて床面仕上材を除去する際に発生した不陸（コンクリートの凹凸）部分を水平回転の研磨機で平滑に仕上げることが必要となります。

水平回転の研磨機には、三相200Vの集塵機を取付けて施工するので粉塵の飛散を防ぐ事ができます。

長所・・・床面を平滑に仕上げる事ができるので、仕上材の発注管理が正確に迅速に行なうことができます。

切削によって発生した脆弱層を研磨にて除去することで接着性のよい強固な下地をつくる事ができます。

短所・・・工程が切削と研磨の2工程になるために、施工時間や費用が増加します。

既設コンクリートの床面レベルが下がりますので、巾木・敷居等に施工上の注意が必要となります。

剥離機



作業写真・1



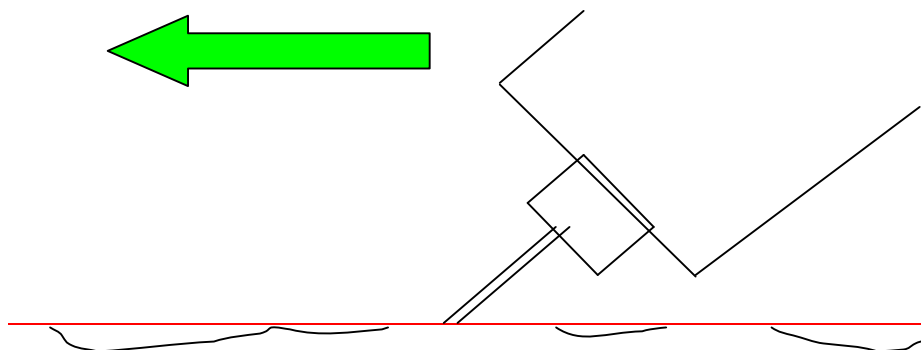
牽引機



作業写真・2



剥離図面



機材名	全長×全幅×全高 (ミリ)	重量	動力方式	備考
剥離機 SR-200	730×460×770	90kg	三相 200V 14A 3.7kw	専用台車有 (クローラー)
クローラー	1260×400×880	100kg	エンジン式 2.2kw	ワイヤー・ウェイト使用

先端につけたプレートを振動させ、牽引機により牽引することで仕上材を剥がし取っていく工法です。

長所・・・手作業の数倍のスピードで仕上材を剥がし取ることができ、軽量で持ち運びが容易です。

牽引機を利用して除去した廃材（ウレタン）は長尺状であるので、運搬が容易で清掃など後処理の時間を短縮することができます。

短所・・・仕上材（ウレタン）が薄い場合、機械の特性上施工できないことがあります。

牽引機はエンジンによる排気ガスが発生しますので、密閉した状態での施工作业はできません。コンクリート下地の状態により仕上材が多少残る場合があります。

研削工法

除去機械



ウレタン撤去用専用刃



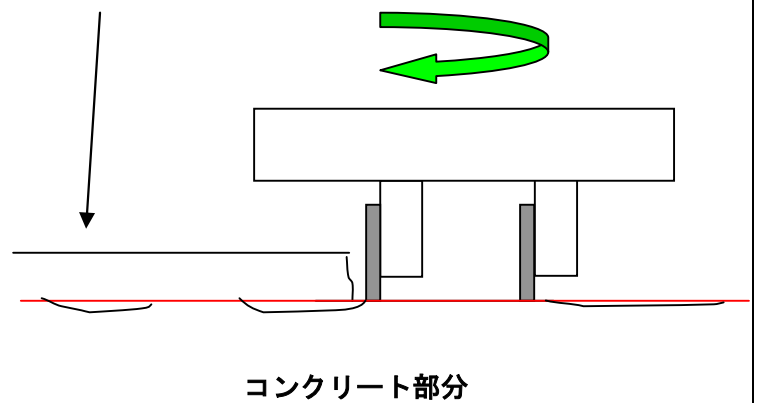
作業写真



同型機で集塵機取付型有

研削図面

ウレタン除去部分



機材名	全長×全幅×全高 (ミリ)	重量	動力方式	備考
K-30	1180×410×910	110 kg	三相200V20A 3.7Kw	

横回転のディスクに特殊カッター（超硬刃）を取り付け射体上層部仕上材（ウレタン）を除去する。

長所・・・下地を荒らすことが少ない。
騒音が小さい。
軽量の機械で処理することができる。

短所・・・凹部分に仕上材が残る。
1日の施工面積が少ない。
薄膜のウレタンを除去することが難しい。

電動ハンマー



機材名	全長×全幅×全高 (ミリ)	重量	動力方式	備考
電動ケレン	510×60×240	5.5kg	単相 100V 12A	ハツリ作業

サンダー作業



100Vサンダー	337×126×210	1.98kg	単相 100V 10.5A	塗膜撤去
----------	-------------	--------	---------------	------

スーパースクレーパー



SS125サンダー	470×150×150	5.5kg	単相 100V 9A	コンクリートレベルダウン
-----------	-------------	-------	------------	--------------

大型研削機で処理できない部分は上記の小型機械で施工します。

下地土間コンクリートの強度の強弱により、同じ機械による施工で多少の下地の状態（粗し方）に差がでる場合があります。

際処理用のスーパースクレーパーは、集塵機を取付けての施工の為粉塵の飛散を防ぐ事ができます。